

徳島絶版バイクミーティング

2019

4/21(日曜日)

徳島・沖洲マリンターミナル

西日本における春の一大バイクイベント「徳島絶版バイクミーティング」が今年もおこなわれた。場所はJR徳島駅の東の港にある沖洲マリンターミナル。四国のみならず大阪、兵庫、広島など西日本の各地からバイク好きが集まった。その様子をレポートしていきます!



天気は…快晴!!

参加者のみなさんの普段の行いが良かったのか、当日の天気は快晴! しかもバイクには気持ちの良い季節で、これぞ一日心置きなくイベントが楽しめますね!



主催のBRC(徳島)



ステージ横には主催のBRCのブースがあり、自社パーツとビモータ風外装が装着されたデモ車のCB400FourとZ1が、控えめな感じで展示されていました

マニアックな知識とユーモアが冴えるMCのワダボリスさん



イベントの進行をおこなうのは、毎度お馴染みのMC、ワダボリスさん。独特のユーモアと旧車のマニアックな知識で来場者の心をしっかり掴んでました。そしてそこに華を添えるのがタレントの大家亜美さん。今回のアメポリ風コスチュームがばっちりハマってますね

進行に華を添える大塚亜美さん



BRC・代表 渡辺さん



イベントの主催である「BRC」代表の渡辺社長から開会のご挨拶。このあと自ら入場者の交通整理など忙しく動き回ってらっしゃいました

お馴染み、PMC(淡路)



そのお隣には、お馴染み「PMC」のブースがありました。展示車両は今が旬のZ900RS(新作のショート管装着)と、フルレストアのZ1。どちらも魅力的です



↑テント内には自社サスペンションブランド「YSS」の製品などを展示。カットモデルや実力の体験ができるマシンもありました

こういう大きなバイクイベントでは、参加車種も見どころだったりする。今回もカスタムされた車両ばかりがかなりの数集まっていた。その中で目に付いた一部の車両を紹介していきますよ~

駐車場も目が離せない!



→カタナの250ですが、色のおかけが小ささを感じない仕上がりがナイス。ショート管の選択もけっこう効いてます



→黄色が鮮やかなマツハ500の初期型、通称「エグリ」。チャンバーのマッチングが絶妙



→イベントでもなかなか見ないZ750ターボ。しかもこの車両はインタークーラー付きで本気さが窺え、凄まじい感じがします



↑90年代当時にタイムスリップしたかのように、あのときのまんまで乗っている雰囲気の「ヨングボ」ことCBR400RR



↑鉄臭い匂いが漂ってきそうなシブい雰囲気のラビット。今のスクーターには出せない味わいがありますね



↑3台のCBXが並んでました。それぞれ改造り方が全く違うのに、こうして並ぶと、同じ車種が好きな空気が感じられるから不思議



↑当時モノのパーツで仕上げられたキレイなCBX。古いなめ猫と新しいNITRONのステッカーが同居しているのが面白いですね

ヨンフォアのカスタムならお任せ!アゲイン(大阪)



G-ワークスパイクにも何度か登場してもらっている大阪のヨンフォア専門店「AGAIN」のブースには自社パーツが装着されたデモ車両を多数展示



こちらは最新作のカフェスタイル・JPS.ver. CBR250RR用倒立フォークや左出しワンオフマフラーなどで、あえてヨンフォアらしくない雰囲気仕上げた1台

旧車販売専門・ウエマツ



旧車の販売で全国展開している「ウエマツ」のブースは、旧車オーナーズクラブ「ZUOC」メンバーの車両を展示していました。そのほとんどは自走で来場だそうで、いつでも乗れる快調な状態であることがうかがえます

華やかすぎる!Zレーシングパーツ(愛媛)



鮮やかなキャンディブルーのデモ車で、いろんなイベントでいつも人目を引いている愛媛の「Zレーシングパーツ」のブースには、新作のZ1-Rをはじめ、Z1、Z1000R、Mk. IIと4台のフルカスタム車を展示。今回はそれに加えて2人の可愛いマスコットガールまで!

貴重なKH専門店 ガレージ・トライシクル(兵庫)



KAWASAKIの地元兵庫でKH専門店を開いたガレージトライシクルでは、代表の青木さんの通勤車両であるKH250改を展示。リビルトのホイールや、KH専用ブレンドしたというオイルなどを紹介していました

地元徳島のNinja専門店・マーベラス(徳島)



こちらは地元の徳島でKAWASAKI Ninja専門店を営む「マーベラス・エンジニアリング」。ニンジャのことは何でもお任せというテクニカルショップだ



この日はワンオフパーツで盛りだくさんのデモ車のレーサー(もちろんフルチューン)と、レストアして仕上げられたフルノーマルの2台の車両を展示



こちらは徳島のおトナリ、香川から参加のみなさん。車種や年齢はバラバラですが、仲の良い感じが伝わってきます。「何かチーム名みたいなありませんか?」と聞くと、「チーム高木?」と、どうやら即席でネーミングしてくれたようです



↑遠目に見て同じ車種かと思ひ、近付いてみると、手前がGPz400で、奥はZRX400でした。ケツの跳ね上がり具合なんかほとんど一緒じゃないですか



↑主張は少なめながら、やることはキッチリやっているという大人好みの2台。手前のNinjaも奥のCB750Fも速そうです



→当時モノのパーツで仕上げられたフルカウルRZ-1のパーツのメカはバラバラですが、まとま



→真っ赤な外装に、これまた真っ赤なBEE-Tチャンパーが鮮烈な印象のZマッハ



→当時の白いガソリンタンクとこの車両、実はよく見るとゼファーがベース。ホイールは純正なのに当時キャストに見えます。この仕上げ方はすごい

マニアックなヨンフォアパーツが充実 カスタム・パラノイア

大阪から参加の「カスタム・パラノイア」は、超・が付くほどマニアックなヨンフォア用パーツをリリースしているショップ。今回も他では扱っていないような細かい部品が注目されていました。



操作系パーツの製造で定評の、スピードショップ・イトウ(岐阜)

こちらは旧車のレースやカスタム界で知る人ぞ知る「スピードショップ・イトウ」のブース。自社パーツを装着したZⅡRSとMk.Ⅱの2台を展示。



Z用のバックステップやレンサル風コンチハンドルは走り系のZ乗りには支持されている人気アイテム。他にもオリジナルパーツがいろいろありました。

地元徳島の旧車ショップ FLYING GEAR



地元徳島の旧車ショップ「フライング・ギア」のブースには、新車同様にレストアされたホンダ・バイアルス250と、イカすマフラーが付いたヨンフォアを展示。こちらもショップを主催。

中型に強い旧車ショップ オートスキャン(横浜)



トスキャンのブースには、様々な当時モノのパーツと、今どきの高性能パーツをうまく融合させた走り系のヨンフォアを展示。

中型に強い!テクニカルサービス本多(京都)



「こちら京都の「テクニカルサービス本多」のブースでは2台のCBXRを展示。白い方はキタコのコンプリート車(プロトタイプ)で販売されずそのまま保管されていたという貴重な車両。黒い方は今どきのテイストで仕上げられた挑戦的な提案が込められた1台。前後色違いのホイールがポイント。



CBXにはこだわりアリ DEEP-FIELD(大阪)



大阪のCBX400F専門店「ディープフィールド」でイベント用に作ったというCBXの断面が見られる「解剖モデル」を展示して注目を集めていました。下の赤い車両は初期の「砂型」モデルで、しかもレストアだという貴重な1台です。

カスタム、修理、なんでもOK・キタン(神戸)

神戸から参加の「バイクファクトリーキタン」のブースには、カスタムベントで仕上げられたカウルが個性的な2台のCBXを展示。どちらも当時モノパーツを効果的に使ってピシッと仕上げられています。



ホンダの中型が熱い!



↑根強く人気のGS400。赤の使い方が絶妙なヤンチャ具合をかもし出していて気になる感じでした。



↑全く種類は違うけど、同じ赤系でハマっていたので2ショットをバチリ。手前のRG250はルーニーのチャンパーがイカす。奥のカタナはよく見るとラメラメです。

お! KR250じゃないですか。純正のままキレイに乗られていて良いですね。後ろから見るとタンデムツインエンジンのスリムさが際立ちます。



1台、黒、銀と3台のGT350が並んでました。マフラー、外装など3台とも改造者が買っていて、それぞれ個性的です。

↑コンパクトな外装とファットなムチムチタイヤの対比が独特の個性を見せる、センスを感じる1台。ベースはGB250かな。



↑「RSC」のレーシングカラーを思わせる色使いが目玉のCB750F。パーツのチョイスやまとめ方が玄人好みでイイ感じ♪

↑黒に金銀のストライプがシブいGS750。マフラーとキャブ以外にブレーキも変わってて、走ってる匂いがします。



GP系っぽい形状の丸ライト・ビニカウルが個性的なMk.Ⅱ。車体はフルカスタムで速そうな雰囲気です。

エクストリーム世界大会4位の実力者 先山選手率いる「FINEST」による迫力のバイクスタントショー



世界大会で4位の成績に輝いた先山選手のバイクスタントチーム「FINEST」のメンバーによる迫力のエクストリームショーが始まると、会場は大いに沸き立った！

なんと6歳でウイリーを楽々と…



こちらは先山選手の息子さんで、この日がスタント初デビュー。なんと6歳で見事なウイリーを披露。英才教育がキマってます！

こちらは高一(16歳)で曲乗りをマスター



こちらも先山選手の息子さん。高1(16歳)でウイリーはもちろん、バナウト走行や後ろ向き、タンク立ちまで多彩なワザを披露していました

先山選手は骨折を押しして渾身のスタントを披露



「FINEST」代表でエースライダーの先山さんは、練習中の骨折で出走は無理？と思われていましたが、その骨折を押しして気合いの走りを見せてくれました。危なげなくハイレベルな技を繰り出すのを見てると、とてもケガをしているとは思えません。世界レベルのテクニックと気構えを見せてもらいました

ヨンフォアでもしっかり竿立ち!

エクストリーム専用のマシンだけでなく、ノーマルのヨンフォアでも見事なウイリー走行を披露。最初は失敗して「あれ？やっぱ無理なの？」と心配させる演出もあつたりして盛り上がりました



イベントのシメは豪華賞品のジャンケン大会!



最後は恒例のジャンケン大会で締め。FRPのカウルやオイル、グッズなど協賛ショップさんたちからの豪華賞品がもらえちゃうとのことで、ジャンケンする手にも力が入ります

ありがとうございました



天気にも恵まれ、みんな笑顔のままイベントは終了しました。家に帰るまでが盛り上がるイベントも楽しかったです。



こちらは地元元の原チャリです。こちらは新入り遊ばせてますが、どれも個々にこだわりが感じられます

ピカピカでカスタム系の仕上がりだけど、どこか走りにもこだわりを感じる絶妙なシャリィ。奥のグレーのモンキーも硬派な仕上がりでGood!



こちらの2台もホンダ・シャリィのカスタム車両。パツと見ているようでも細かく見ていくと仕上げやパーツが異なっていて面白いです



これも人気が高いスズキの「Vanvan」90かな? キレイにレストアされてイイ感じの1台です

